

関係者各位

プランクトン検鏡結果のお知らせ

本日午前、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で46 cells/mL、ヘテロシグマ・アカシオが最高で30 cells/mL、ケラチウム属が最高で22 cells/mL確認されました。

カレニア・ミキモイが増殖傾向にあり、赤潮となるおそれがありますので、十分注意してください。また、海や養殖魚の状態に応じて、餌止めなど慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

プランクトン(cells/mL)

調査地点	水深	水温(°C)	塩分	溶存酸素量(mg/L)	カレニア・ミキモイ	ヘテロシグマ・アカシオ	ケラチウム属
鳴無	2m	24.2	31.6	12.9	3	30	2
	5m	22.5	32.4	11.8	4	10	4
	8m	22.1	32.8	8.6	8	0	7
中学校前	2m	23.3	31.4	11.5	12	0	0
	5m	21.5	32.1	9.1	3	0	8
	8m	21.1	32.6	6.6	26	0	22
	0-10m	-	-	-	43	-	-
目の糞	2m	23.0	31.5	10.9	6	0	3
	5m	21.6	32.1	9.0	1	10	1
	8m	21.0	32.5	6.8	46	0	9
光松	2m	22.6	31.2	9.0	9	0	0
	5m	21.4	32.1	7.7	7	10	0
	8m	21.0	32.5	6.8	37	0	5

漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモイ:数百~数千cells/mL (魚類等のへい死)
- ・ヘテロシグマ・アカシオ:50,000~cells/mL(魚類のへい死)
- ・ケラチウム属:100~cells/mL(餌食いの悪化)

